

アルフェンス・NS

再使用禁止

【禁忌・禁止】

*1. 併用医療機器 [相互作用の項参照]

本品を装着したまま磁気共鳴画像診断装置 (MRI装置) を使用しないでください。[発熱し熱傷のおそれがあるため。]

2. 使用方法

- 1) 再使用禁止
- 2) 本品をハサミ等でカットした場合、アルミニウム板のカット面に直接肌が触れないようにすること。
[怪我の原因となる。]

3. 適用対象

貼付部位に皮膚障害 (感染創、潰瘍、発疹、腫脹等) のある患者。[皮膚障害の症状を悪化させるおそれがある。]

【形状・構造及び原理等】

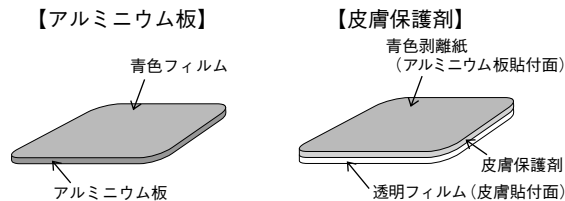
1. 種類・規格

| 種類 | 規格 |
|----|----------------|
| | 上底×下底×高さ |
| 2号 | 40mm×70mm×40mm |
| 3号 | 50mm×80mm×50mm |

2. 構造

本品は、アルミニウム板に皮膚保護剤を貼り合わせて使用する。皮膚保護剤は、アルミニウム板の貼付面にはアクリル系粘着剤、皮膚の貼付面にはポリイソブチレン、カラヤガムを主成分としたハイドロコロイド粘着剤を使用している。

<模式図>



3. 原理

皮膚保護剤と賦形 (成形) 可能なアルミニウム板からなる本品を患部に沿わせることで固定する剛性と強度を発現する。

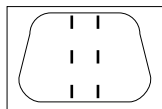
【使用目的又は効果】

鼻等の骨折や挫傷等の固定に用いられる。

【使用方法等】

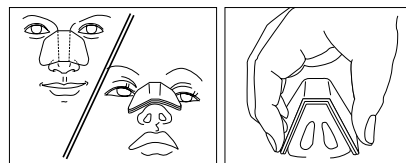
1. 初回の貼付

- 1) 皮膚保護剤の青色剥離紙を剥がし、アルミニウム板の銀色の面に貼付します。次いで、ハサミ等で固定部位に合うよう適当な大きさ・形に切ります。
アルミニウム板をカットする場合は、バリがでないように注意してください。
- 2) アルミニウム板の青色フィルムの上に、鼻背の幅に合わせてフェルトペン等で折り目の印をつけます。

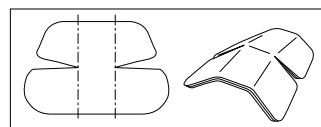


- 3) 印に合わせてアルミニウム板に折り目をつけ、青色フィルムを剥がします。
- 4) 貼付部位の汗、皮脂分、汚れ等拭き取り、貼付部位を清潔な状態にします。

- 5) 皮膚保護剤の透明フィルムを剥がし、折り目を正しく鼻の線に合わせてながら貼付します。
鼻をつまみあげるようにして本品を折り込みます。又、必要に応じてサージカルテープ等で補強してください。



必要な場合 (わし鼻等)、図のような切れ込みを入れて、鼻の形にフィットさせてください。



2. 皮膚保護剤の交換

貼付期間は最大で1週間とし、周囲の剥がれが起きたとき又は起きそうなときは、速やかに新しい皮膚保護剤と交換してください。交換方法は以下の通りです。

- 1) アルミニウム板から皮膚保護剤を剥がします。次いで、新しい皮膚保護剤の青色剥離紙を剥がし、アルミニウム板の銀色の面に貼付します。
- 2) その後、「初回の貼付」4)、5)の方法で固定してください。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 本品使用中に痛み、しびれ、皮膚障害等と思われる症状が認められた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置をしてください。
- 2) 本品の折り曲げを繰り返し行わないでください。
[アルミニウム板が破損する可能性があります。]

*2. 相互作用 [併用禁忌] (併用しないこと)

| 医療機器の名称等 | 臨床症状・措置方法 | 機序・危険因子 |
|--------------------|-------------------------|---|
| 磁気共鳴画像診断装置 (MRI装置) | MRI検査を行うときは、患者から取り外すこと。 | 本品の金属部がMRI装置から発生する無線高周波による誘導電流で発熱し、熱傷のおそれがある。又、磁力によって引き付けられたりすることで、怪我のおそれがある。 |

3. その他の注意

- 1) 本品は使用前、使用后などに患者に誤飲されるおそれがあるため注意してください。
- 2) 本品に破損、変形、汚染等がある場合は使用しないでください。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

水濡れを避けてください。直射日光及び高温多湿を避けて、室温保管してください。

2. 有効期間

パッケージに表示。(自己認証データによる)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

1. 製造販売業者

アルケア株式会社

2. 連絡先

〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19階

お客様相談室： ☎ 0120-770-175